

第 5 回 県有施設・県出資団体等調査特別委員会資料

出資団体改革等の推進について ～出資団体の概要～

公益財団法人いばらき腎臓財団（保健医療部）

令和 5 年 12 月 21 日（木）

出資団体の業務・運営等の現状と課題

(令和5年7月1日現在)

【公益法人等会計用】

団体 番号	8	団体名	公益財団法人いばらき腎臓財団		代表者	理事長 山縣 邦弘	
		所在地	つくば市天久保2-1-1 筑波大学附属病院A295		所管部課	保健医療部医療局業務課	
		設立年月日	平成元年12月14日				
基本財産			418 百万円	うち県出捐金	281 百万円	出捐比率	67.2 %
主な 出捐 者	出捐順位	出 捐 者 名			出 捐 額	出 捐 比 率	
	1	茨城県			281 百万円	67.2 %	
	2	市町村			100 百万円	23.9 %	
	3	茨城県腎臓病患者連絡協議会			10 百万円	2.4 %	
	4	その他（7団体6個人）			27 百万円	6.5 %	
5				百万円	0.0 %		
設立 目的	臓器移植を普及促進するとともに、慢性腎臓病予防の総合的な対策を図り、県民の健康、福祉の向上に寄与する。						
業 主 た る 務	<ul style="list-style-type: none"> ・臓器移植推進に関する事業 ・慢性腎臓病予防に関する事業 						
主 た る 事 業	事業名	令和5年度事業費	事 業 内 容				
	臓器移植普及啓発事業	1 百万円	<ul style="list-style-type: none"> ・青少年、医療従事者、子ども保護者世代を対象とした各種普及啓発ツールを作成・配布 ・市町村、各種団体等への出前講演会の提供 ・移植関連研修会等、各地の関連イベントの後援、協賛 				
	組織適合検査費用の助成	0.5 百万円	<ul style="list-style-type: none"> ・腎臓移植希望者を対象に1回限定で検査費用の一部を助成 				
	いのちの学習会事業	0.4 百万円	<ul style="list-style-type: none"> ・県内の小中学校及び高校に講師を派遣し講演会を開催 				

組織関係 (県の関与の状況)	区 分	H26			H27			H28			H29			H30			R1			R2			R3			R4			R5					
		県派遣 県OB			県派遣 県OB			県派遣 県OB			県派遣 県OB			県派遣 県OB			県派遣 県OB			県派遣 県OB			県派遣 県OB			県派遣 県OB			県派遣 県OB					
役員数	常勤理事・監事	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0
	非常勤理事・監事	10	0	0	10	0	0	10	0	0	11	0	0	11	0	0	11	0	0	11	0	0	11	0	0	11	0	0	11	0	0	12	1	0
	計	11	0	0	11	0	0	11	0	0	12	0	0	12	0	0	12	0	0	12	0	0	12	0	0	12	0	0	12	0	0	13	1	0
職員数	管理職	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	一般職	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	臨時職員	2	0	0	2	0	0	2	0	0	1	0	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	3	0	0	3	0	0	3	0	0
	嘱託職員	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	4	0	0	3	0	0	3	0	0	2	0	0	3	0	0	3	0	0	3	0	0	3	0	0	3	0	0	3	0	0	3	0	0
	派遣等割合		0.0%	0.0%		0.0%	0.0%		0.0%	0.0%		0.0%	0.0%		0.0%	0.0%		0.0%	0.0%		0.0%	0.0%		0.0%	0.0%		0.0%	0.0%		0.0%	0.0%		0.0%	0.0%

(単位：百万円)

県の財政的関与の状況	区 分	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5予算
		補助金	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	委託料	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	指定管理料	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	財政的関与の割合	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	損失補償・債務保証残高	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
貸付金	実行額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	残高	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
補助金等の内容	補助金	該当なし									
	委託料	該当なし									
	指定管理料	該当なし									
	貸付金	該当なし									

(単位:百万円)

区 分	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	
決算状況の推移	経常収益計 ①	14	12	13	12	13	13	13	12	11
	基本財産運用益	5	5	5	5	5	5	5	4	4
	受取会費	5	5	5	5	5	5	5	5	5
	受取補助金等	2	0	1	1	1	1	0	0	0
	事業収益	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他の収入	2	2	2	1	2	2	3	3	2
	経常費用計 ②	14	12	13	13	13	14	13	12	11
	事業費	11	8	9	9	9	10	9	8	8
	管理費	3	4	4	4	4	4	4	4	3
	当期経常増減額 ③ (①-②)	0	0	0	△ 1	0	△ 1	0	0	0
	経常外収益計 ④	0	0	0	2	0	0	0	0	0
	経常外費用計 ⑤	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	当期経常外増減額 ⑥ (④-⑤)	0	0	0	2	0	0	0	0	0
	法人税等 ⑦	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額(当期利益) ⑧ (③+⑥-⑦)	0	0	0	1	0	△ 1	0	0	0	
正味財産期首残高⑨	426	426	426	426	427	427	426	426	426	
当期指定正味財産増減額⑩	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
正味財産期末残高 ⑪ (⑧+⑨+⑩)	426	426	426	427	427	426	426	426	426	
財産の状況	資 産	426	427	426	428	428	427	428	427	428
	流動資産	8	9	8	10	10	7	8	8	8
	固定資産	418	418	418	418	418	420	420	419	420
	負 債	0	1	0	1	1	1	2	1	2
	流動負債	0	0	0	0	0	0	1	0	0
	固定負債	0	1	0	1	1	1	1	1	2
正味財産	426	426	426	427	427	426	426	426	426	

経営評価	評価対象年度	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
	評価結果	概ね良好	概ね良好	概ね良好	概ね良好	概ね良好	概ね良好	概ね良好	概ね良好	概ね良好

令和3年度決算に係る経営評価結果	
総合的所見	対応
<p>○法人は、コロナ禍において事業の減少など厳しい運営の中、「いのちの学習会」や医療者向けの研修会、若手研究者や医療関係者等に対する研究助成や褒賞事業など、設立目的に沿った運営がなされている。</p> <p>引き続き、「いのちの学習会」による命の大切さを啓蒙し、本県における脳死下・心停止後の臓器提供者（平成25年度～令和3年度末現在：24人）の増加や臓器移植推進につながる効果的な諸事業を実施されたい。</p> <p>○また、基本財産運用益の増収が見込めない中、事業の円滑な推進のためには自主財源の確保を図る必要があることから、引き続き賛助会員の拡充や寄付金の募集など、収入の確保に努め、財政基盤の充実を図られたい。</p>	<p>○県内の脳死下・心停止後の臓器提供は近年増加傾向にあるものの、その数は移植を希望して待機している患者数に比べると大きく不足している状況が続いている。</p> <p>こうした状況の改善に向けて、病院内で活動する臓器移植コーディネーターや医療従事者の支援、「いのちの学習会」をはじめとする各種の普及啓発活動について、新型コロナウイルス感染症対策を徹底しながら、効果的に事業を実施できるように指導をしていく。</p> <p>○また、事業活動を支える財政基盤については、昨今の金融環境では基本財産の運用益増収は見込めないことから、賛助会員の拡充や寄付金の募集など、事業に必要な自主財源の確保について、継続的に支援をしていく。</p>

課題及び今後の対応	
課題	今後の対応
<p>○県内の脳死下・心停止後の臓器提供件数は、着実に増加しているものの、その数は移植を希望して待機している患者数に比べると大きく不足している状況であるほか、待機患者になり得る透析導入患者の増加も抑制されていない状況である。</p> <p>○近年の金融環境により、基本財産運用益の増収が見込めないことから、自主財源の確保を図り、事業規模が縮小しないようにする必要がある。</p>	<p>○「いのちの学習会」など、いのちの大切さや臓器移植の意義を普及啓発する事業について、本県における臓器提供者の更なる増加につながる効果的な方法を模索していく。</p> <p>また、慢性腎臓病予防のための講演会についても、待機患者の増加抑制につながるように工夫をしていく。</p> <p>○賛助会員の拡充や寄付金の募集等により、事業に必要な自主財源の確保を図っていく。</p>